

鴨志田夏祭り実行委員会 運営マニュアル

改正	日付	改正責任者	備 考
6	2021/2/27	事務局	準備会議（2/14）の結果反映
5	2020/3/24	事務局	準備会議（2/22）の結果反映
4	2020/2/22	事務局	令和2年度案作成
3	2019/4/20	事務局	一部修正
2	2019/2/23	事務局	全面見直し
	2018/4/28	事務局	夏祭り運営マニュアルの初版発行

鴨志田夏祭りの運営と各自治会・町内会からの実行委員派遣と役割分担

鴨志田夏祭りは鴨志田町の5つの自治会・町内会より輪番制で選出された実行委員長及び事務局（実行委員長が所属する自治会・町内会が担当する）、緑小校長先生、地域コーディネータ、顧問・ボランティアにより運営する。

実行委員長は自治会・町内会の会長の持ち回りとする。ただし鴨志田東団地自治会・市営団地自治会は世帯数が少ないので二つの自治会を一団体として対応する。

組織表の下の方の自治会・町内会が毎年一つずつ上に繰り上がり、最も上位に来た自治会・町内会がその年度の実行委員長を務めることになる。鴨志田町内会、鴨志田西団地自治会、緑自治会、（鴨志田東団地自治会・市営団地自治会合同）の順に持ち回りとする。令和3年度は緑自治会が実行委員長及び事務局を担当する。

実行委員は各自治会・町内会から世帯数に応じて派遣することとして、実行委員の配分は、鴨志田町内会5名、西団地自治会3名、緑自治会2名、鴨志田東団地自治会1名、市営団地自治会1名とするが自治会長・町内会長が兼任しても良い。

新年度の実行委員会立ち上げに際して、現実行委員長は、年が明けたら新年度が始まる前に新年度の夏祭り開催日程を各自治会長・町内会長及び地域コーディネータ、緑小校長先生と調整し決定する。現実行委員長は、新年度の実行委員長を担当する自治会・町内会への引き継ぎの準備を行うとともに新年度の第一回実行委員会の招集を関連部門へ通知し、各自治会・町内会へ実行委員の選出及び会議への出席を依頼する。

新年度実行委員長を担当することになる自治会長・町内会長は、前年度実行委員長の支援を得て事務局を立ち上げ、新年度の夏祭り開催までの実行委員会の日程を作成し準備する。

第一回目の実行委員会では、会計2名、会計監査2名（前年度自治会長）、各作業班の割り振りを行い、実行委員会の日程調整と夏祭り開催までの各班の作業内容及びスケジュールを確認する。実行委員長は主要な関係団体へ出向いて夏祭り開催を報告し協力をお願いする。

特に早期手配を必要とするイベント出演依頼やポスター製作依頼、レンタル品、電気設備、やぐら設置などについては速やかに手配する。（出来れば4月中に仮手配を済ませたい）

実行委員会各作業班の役割

《本部運営1 接待・抽選会班》

- 緑小、鴨中他の団体への夏祭り開催の事前挨拶、役所、消防署への届け出等
- 案内状の作成、各自治会・町内会配布分担
- 抽選会の企画立案

《本部運営2 プログラム・模擬店班》

- 模擬店、キッチンカー、イベントの調整、ポスターの手配・作成、
- 本部要員の見積、夏祭りスタッフ飲食確保、
- 本部飲料販売の準備

《本部運営3 スタッフ&手配関連班》

- 夏祭り動員人数の把握と各自治会・町内会の動員数割り振り、作業分担調整、人員配置・シフト表作成、

《会場設営班》

- 夏祭り会場の設備（やぐら、テント、電気・照明、掲示板、ちょうちん、本部模擬店用機材）の調達、会場配置図の作成、警備の依頼、ごみ処理依頼等

《会計班》

- 実行委員長が所属する自治会・町内会から1名、他自治会・町内会から1名選出し、各自自治会・町内会から分担金の徴収、ご祝儀入金、模擬店出店料徴収、模擬店仮払金の執行、決算報告、各自自治会・町内会への分担金の返戻しを担当する。

《会計監査》

- 決算報告の承認

《事務局》

- 実行委員長が所属する自治会・町内会が担当、実行委員会の日程調整、各班の検討結果を収集して会議資料を作成、計画を推進する。(実行委員が兼任してもよい)

《顧問、ボランティア》

- 実行委員会に出席して助言を行う。

鴨志田夏祭り実行委員会組織図<2022 年度（案）>

